



# OBCを知るための基礎資料



**2015年9月30日**

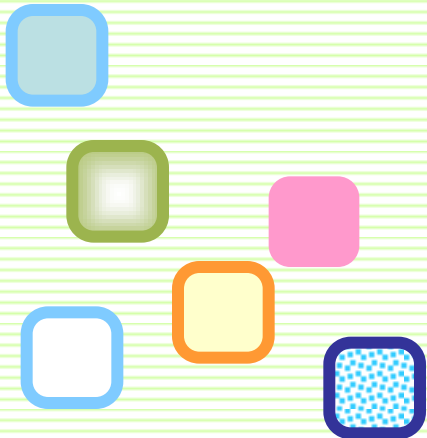
**株式会社オービックビジネスコンサルタント**

**東証1部 (4733)**

**[www.obc.co.jp](http://www.obc.co.jp)**

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

- I. 会社の概要
- II. 事業領域
- III. 事業内容
- IV. 市場における地位



# 会社の概要

- ◆ 設立 : 1980年12月
- ◆ 総資産 : 1,052億710万円(15年3月期末)
- ◆ 株主資本 : 909億9,470万円(15年3月期末)
- ◆ 事業内容 : ●ソリューション  
●関連製品  
●サービス
- ◆ 代表者 : 代表取締役社長 和田 成史
- ◆ 業績(非連結): 15年3月期
  - 売上高 : 198億2,802万円
  - 経常利益 : 104億6,516万円
  - 当期利益 : 64億2,618万円

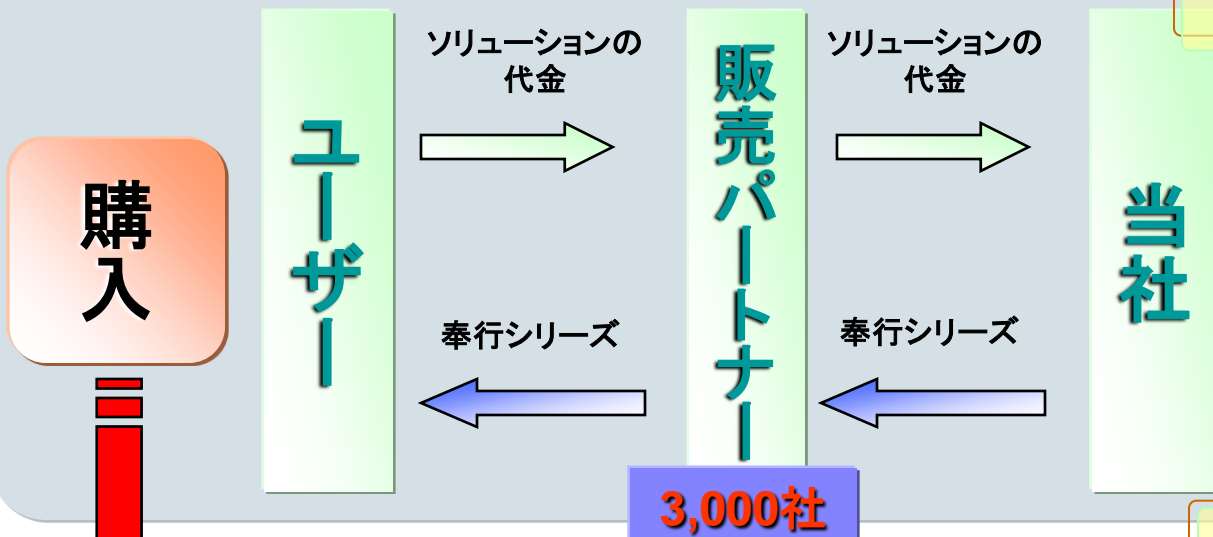
# OBCのビジネスモデル

	OBC	SIer
対象製品・システム	<ul style="list-style-type: none"><li>● 基本業務システム(奉行13製品)</li><li>● パッケージソフト中心</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 個別ユーザー・</li><li>● 案件別システム</li><li>● ソフト+ハード</li></ul>
販売方法	<ul style="list-style-type: none"><li>● 販売パートナー経由 (リコー、キヤノン、ゼロックス等、富士通、<b>NEC、IBM</b>等のメーカー系地域独立系販社)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 直販</li></ul>
開発方法	<ul style="list-style-type: none"><li>● パッケージ: 自社開発</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 自社開発(一部外注)</li></ul>
地域ターゲット	<ul style="list-style-type: none"><li>● 全国展開(販売パートナーを活用)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 都市部中心</li></ul>
顧客ターゲット	<ul style="list-style-type: none"><li>● 中堅・中小企業</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 大企業、中堅企業</li></ul>

# OBCのビジネスモデル



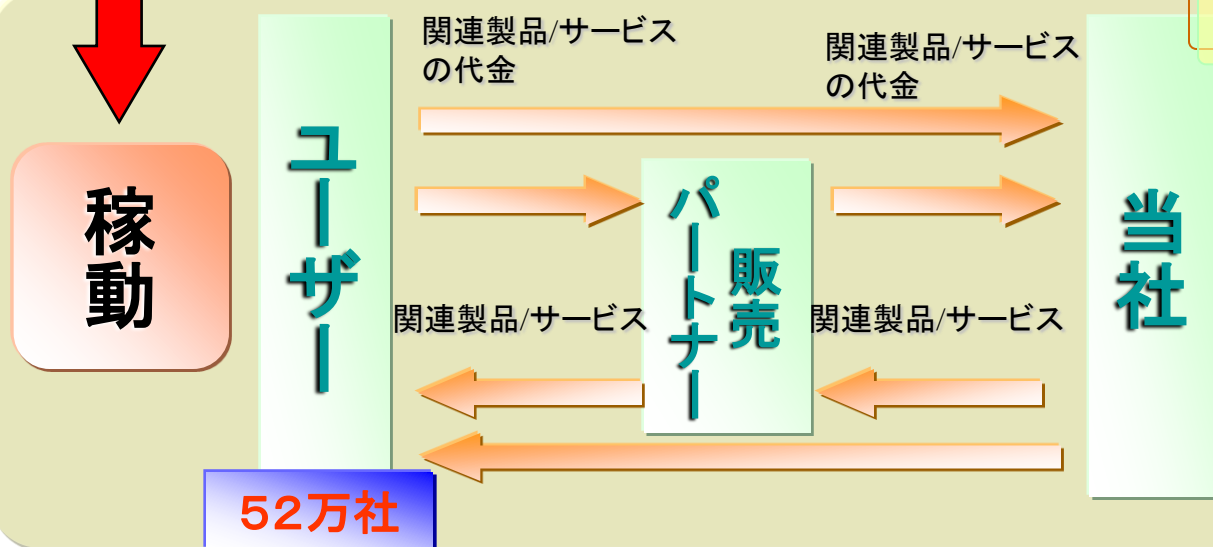
## フロービジネス



- ソリューション
- ・V ERP、新ERP、LANPACK、スタンドアロン、Jシステムなどの奉行シリーズ
- ・地銀向けEB (OfficeBank)



## ストックビジネス



- 関連製品
- ・サプライ品(専用帳票類)
- ・奉行シリーズ連動他社製品
- ・都銀向けEBの受託開発
- サービス
- ・保守契約料(OMSS)
- ・スクール売上(ユースウェア)
- ・指導料売上(ユースウェア)
- ・都銀向けEBの月額使用料

# 当社のPKG・SW(奉行V ERP スケール別)

## Advanced Edition

価格(税抜き) ¥1,900,000~

Advanced Editionとは、既存システムとの堅密な連携に対応できる奉行V ERPシリーズのハイグレードモデル。必要な部分からの段階的な開発や連携も考慮しており、企業の導入フェーズに柔軟に対応。

## Standard Edition

価格(税抜き) ¥1,600,000~

Standard Editionとは、社内のネットワーク環境やブローバンドを利用し複数台のPCで、伝票の入力や管理資料の印刷が可能。業務の負荷分散やデータの一元化が図れるベーシックなモデル。

## Single Edition

価格(税抜き) ¥580,000~

Single Editionは1台のコンピュータで運用することを目的としている。業務システムの運用が単体でのお客様、企業規模に合わせて導入やパイロット運用など将来の拡張を想定して、効率の良い投資を行ないたいお客様、様々なお客様に対応可能。

<参考>「勘定奉行VERP」の価格です。Standard Edition、Advanced Edition は、5ライセンスの参考価格です。

# 当社のPKG・SW(奉行21Ver.5、奉行i スケール別)

製品	内容	販売数量 (15/3期)	定価
新ERP	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 奉行シリーズの機能をさらに拡張するためのパッケージ</li> </ul>	333本	114～298万円 (3～20クライアント)
LANPACK	<ul style="list-style-type: none"> <li>● データベースサーバーとクライアントPCをネットワーク接続して使用するパッケージ</li> <li>● 複数の部門、担当者が利用する業務に対応</li> <li>● 支店・事業所内で複数のオペレータが使用出来るだけでなく、WAN接続(専用線、ダイヤルアップ、VPN等)する事により、複数の支店、事業所で使用し、データを一元管理する事ができる</li> </ul>	4,525本	88～258万円 (3～20クライアント)
Standalone	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 1台のPCにて使用するパッケージ</li> <li>● 小規模の企業や、特定の担当者、部門内でのみ利用する業務に対応</li> </ul>	22,849本	15～25万円
Jシステム	<ul style="list-style-type: none"> <li>● SOHO向け</li> </ul>	1,213本	8万円
EB (エレクトロニック・バンキング)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 都銀や地銀のユーザーである大企業や中堅企業の事業所における銀行取引業務管理システム</li> </ul>		

# 当社のPKG・SW(機能別)

## 財務会計システム

- 勘定奉行
- 建設奉行
- 勘定奉行(個別原価管理編)

## 給与・勤怠・人事システム

- 給与奉行
- 就業奉行
- 人事奉行
- 法定調書奉行

## 販売・仕入在庫管理システム

- 商奉行
- 蔵奉行

## 固定資産管理システム

- 償却奉行

## 顧客管理システム

- 顧客奉行

## 申告書作成システム

- 申告奉行(法人税・地方税編)
- 申告奉行(内訳書・概況書編)
- 申告奉行(所得税編)

## エレクトロニックバンキングシステム

- OFFICE BANK
- OFFICE BANK(資金集中・配分システム)



# V ERP, 新ERPの特徴

## 自社の業務プロセスに合わせた 開発が可能

### 1. 低コストの実現

- 費用対効果の高いシステム導入が可能
- 業種別に用意されているソリューション製品群
- オプションコンポーネントによるコスト削減  
(ミニマム化)

### 2. 短納期でのシステム構築が可能

- 完成したパッケージをベースにした開発による納期の短縮
- オプションコンポーネントとの組み合わせによる短納期を実現

### 3. 既存システムとの融合

- 必要としている部分に新たなシステムを追加導入・改善を行い、既存システム(他社のシステム)と融合をすることにより、最小限の投資で新たなシステムの構築が可能

## 段階的なシステム導入が可能

### 1. システムアップによる導入

- スタンドアロン→LANPACK→新ERP

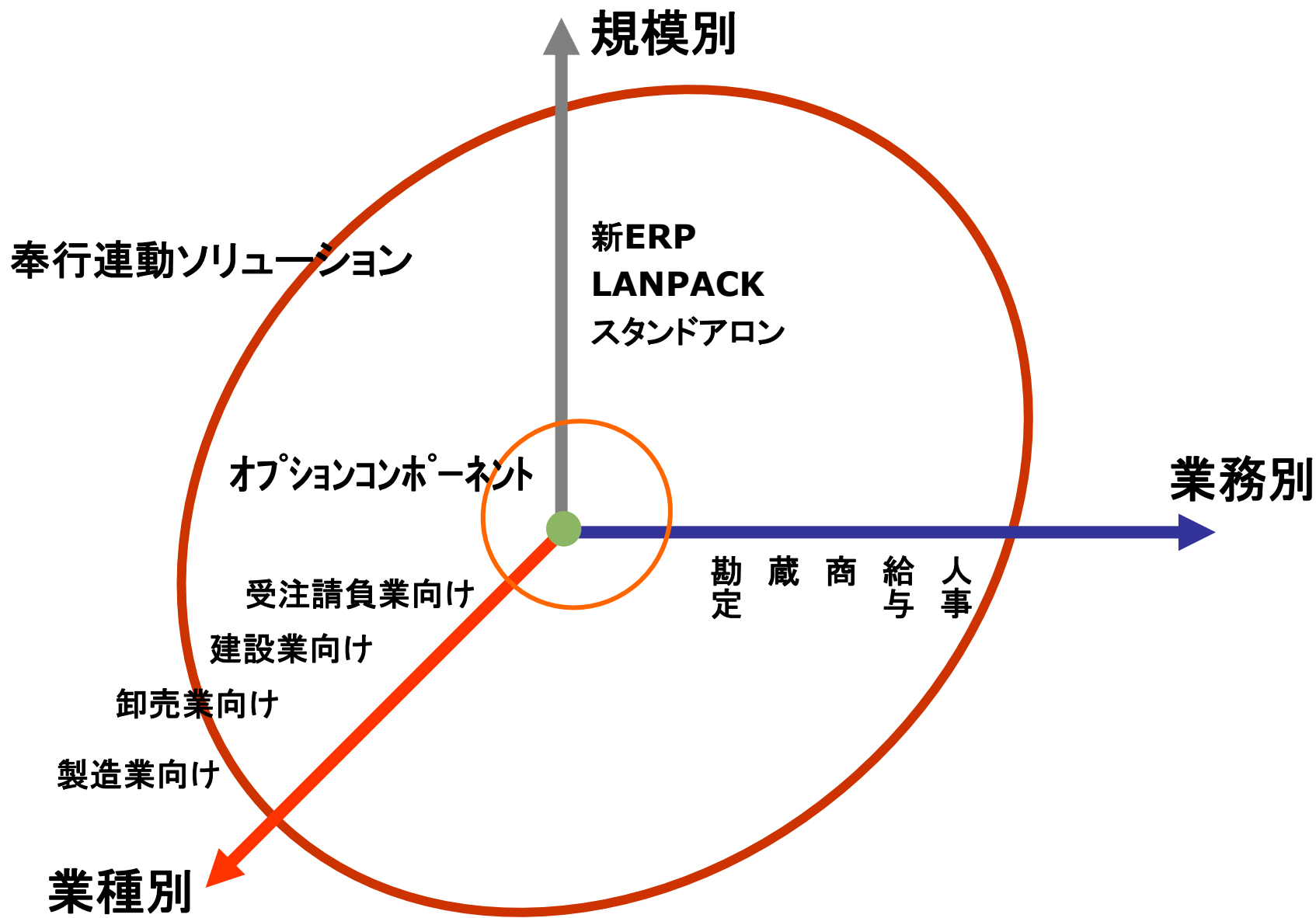
### 2. 業務単位での導入可能とする3つのデータベース

- 人: 人事・給与・就業管理
- 物: 販売・仕入・在庫・顧客管理
- 金: 財務会計・固定資産・債権債務・法人税

### 3. 奉行連動ソリューションとの連携

- 業務単位に多彩な奉行連動ソリューションが用意されており、柔軟なシステム拡張が可能
- 奉行連動ソリューションはシステム開発パートナーが連動製品を提供

# 製品戦略の位置づけ



# オプションコンポーネントのコンセプト

## オプションコンポーネント概念

- ◆ 従来カスタマイズ対応していた機能の中で、複数件同様の要望があったものについて汎用化し、パッケージシステム化したもの

## オプションコンポーネントのメリット

- ◆ 新ERP:カスタマイズした場合に比べ  
1/3~1/5程度のコスト
- ◆ 短納期でシステム構築が可能

**新ERP**  
=PKG+カスタマイズ

汎用化(02年末より)

**新ERP**  
=PKG+PKG(コンポーネント)

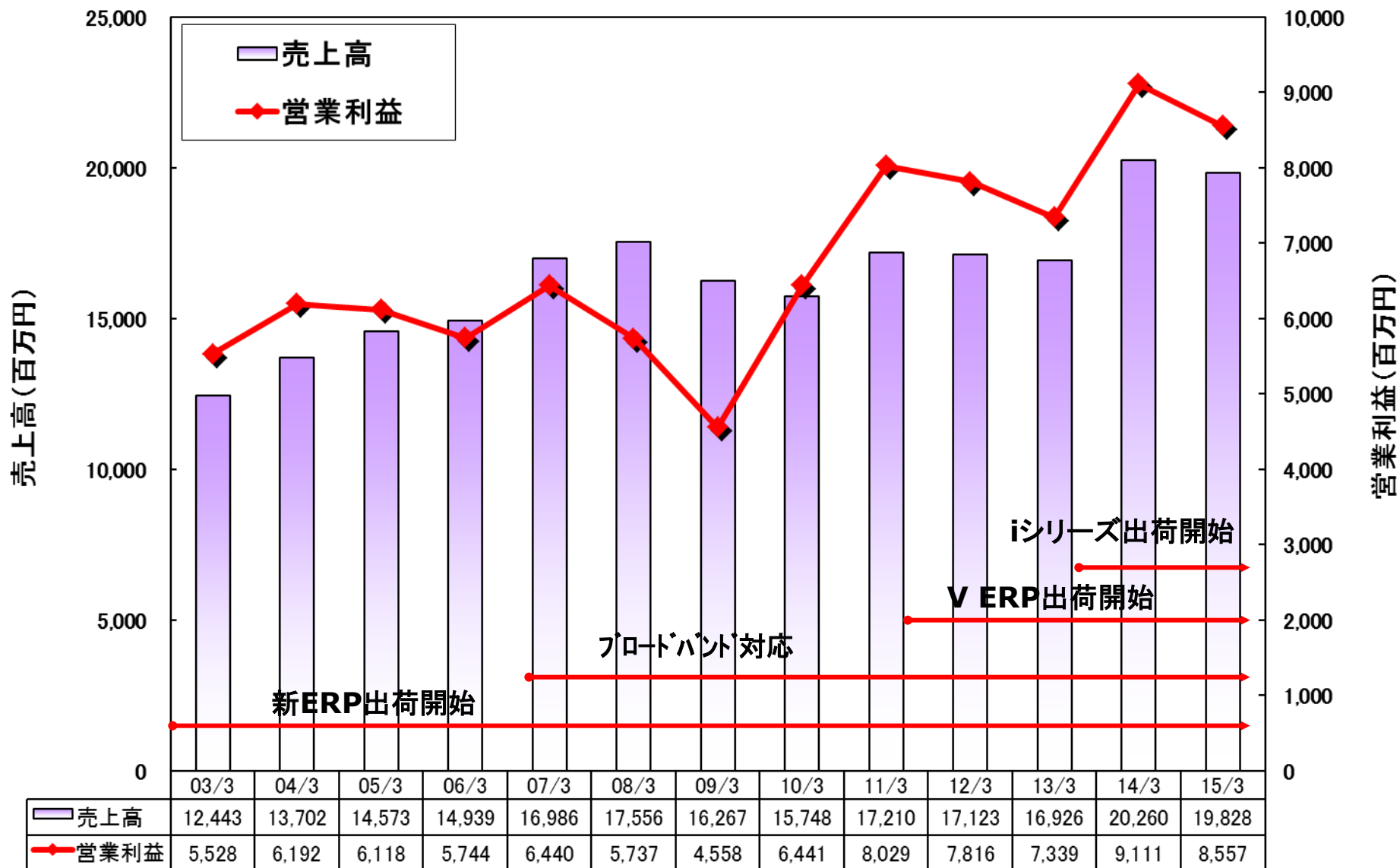
技術転用(04年秋より)

**スタンドアロン、  
LANPACK**  
=PKG+PKG(コンポーネント)

# オプションコンポーネントの一覧

各種コンポーネント	発売	対応製品	期待度
支払管理オプションVer. II	04年6月	勘定奉行	◎
外貨入力オプション	04年9月	勘定奉行【個別原価管理編】	◎
昇給賞与算定オプション	04年11月	人事奉行	◎
管理会計オプション	04年8月	勘定奉行	◎
入金消し込みオプション	02年12月	商奉行	◎
手形管理オプション	03年2月	勘定奉行	○
CTI受注受付オプション	03年2月	商・蔵奉行	○
ECオプション	04年9月	商・蔵奉行	○

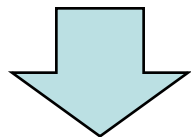
# 業績推移



# 営業体制

## TVCM中心

1. TVCMなど
2. セミナー方式  
会計士、ITコーディネーター、金融機関との  
タイアップなど
3. 展示会方式
4. 無料体験スクール方式



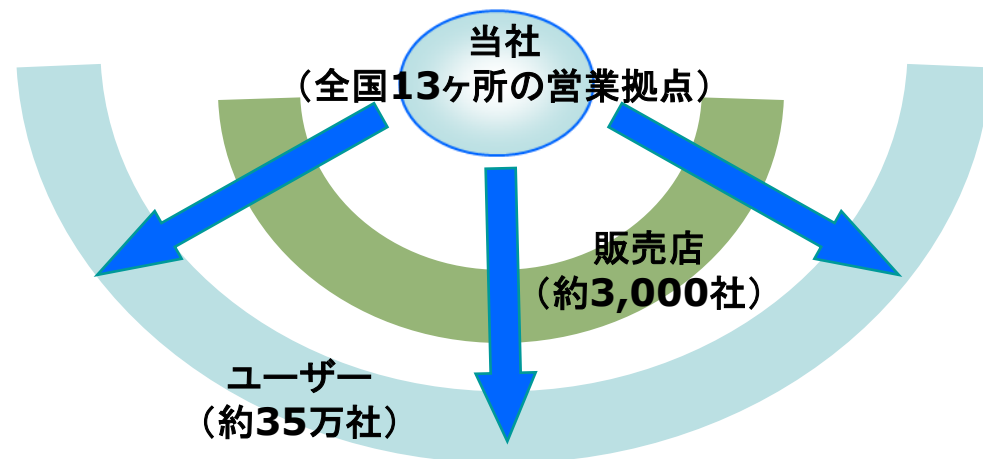
### ◆セミナーの開催例

「OBC戦略セミナー」  
「奉行フォーラム」

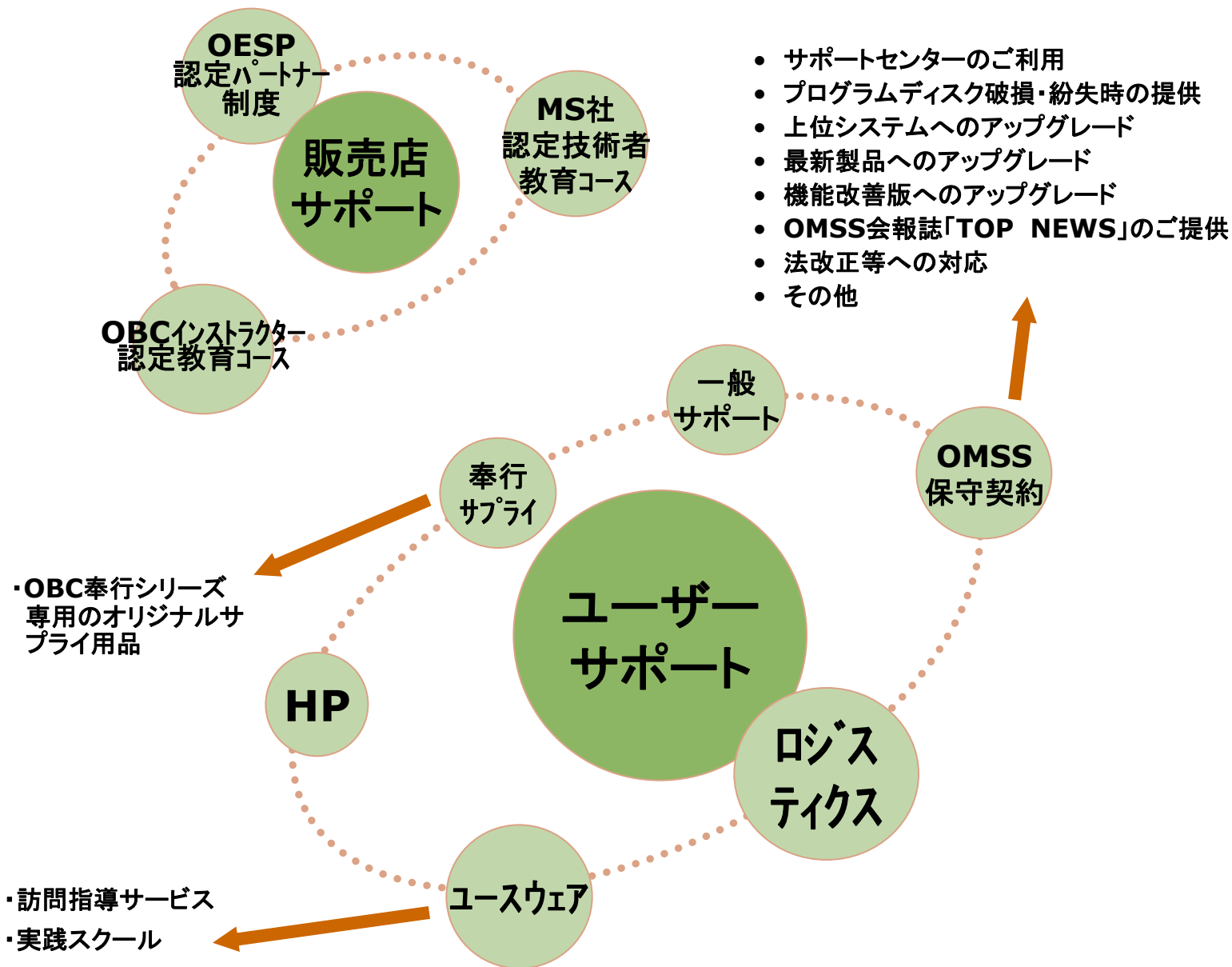
## 知識集約型

- ◆ 全員が日商簿記2級及びマイクロソフト認定技術者の有資格者
  - ⇒ 営業員でなくシステムコンサルタント
  - 当社営業部員(システムコンサルタント)  
+ 販売パートナーでの顧客提案
  - 当社+販売パートナーによる独自イベント

## 地域密着型



# サービス・サポート体制



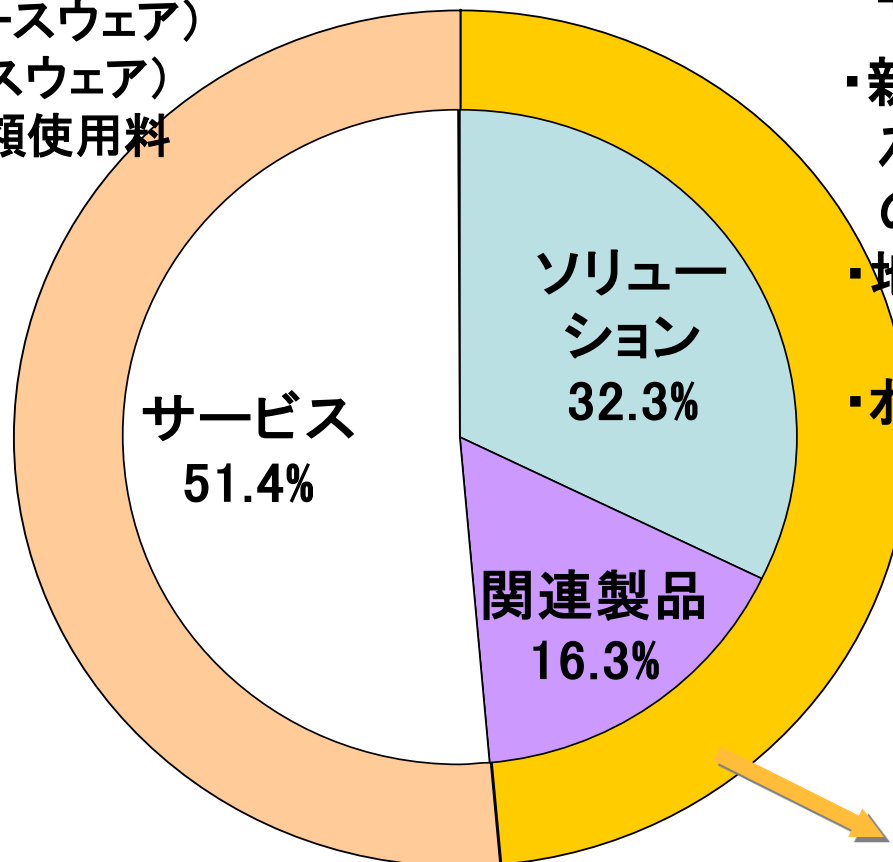
# 部門別売上構成比(15年3月期)

## ■サービス

- ・保守契約料(OMSS)
- ・スクール売上(ユースウェア)
- ・指導料売上(ユースウェア)
- ・都銀向けEBの月額使用料

## ■ソリューション

- ・奉行VERP
- ・新ERP、LANPACK、スタンドアロン、太鼓判などのパッケージソフト
- ・地銀向けEB (OfficeBank)
- ・オプションコンポーネント



## ■関連製品

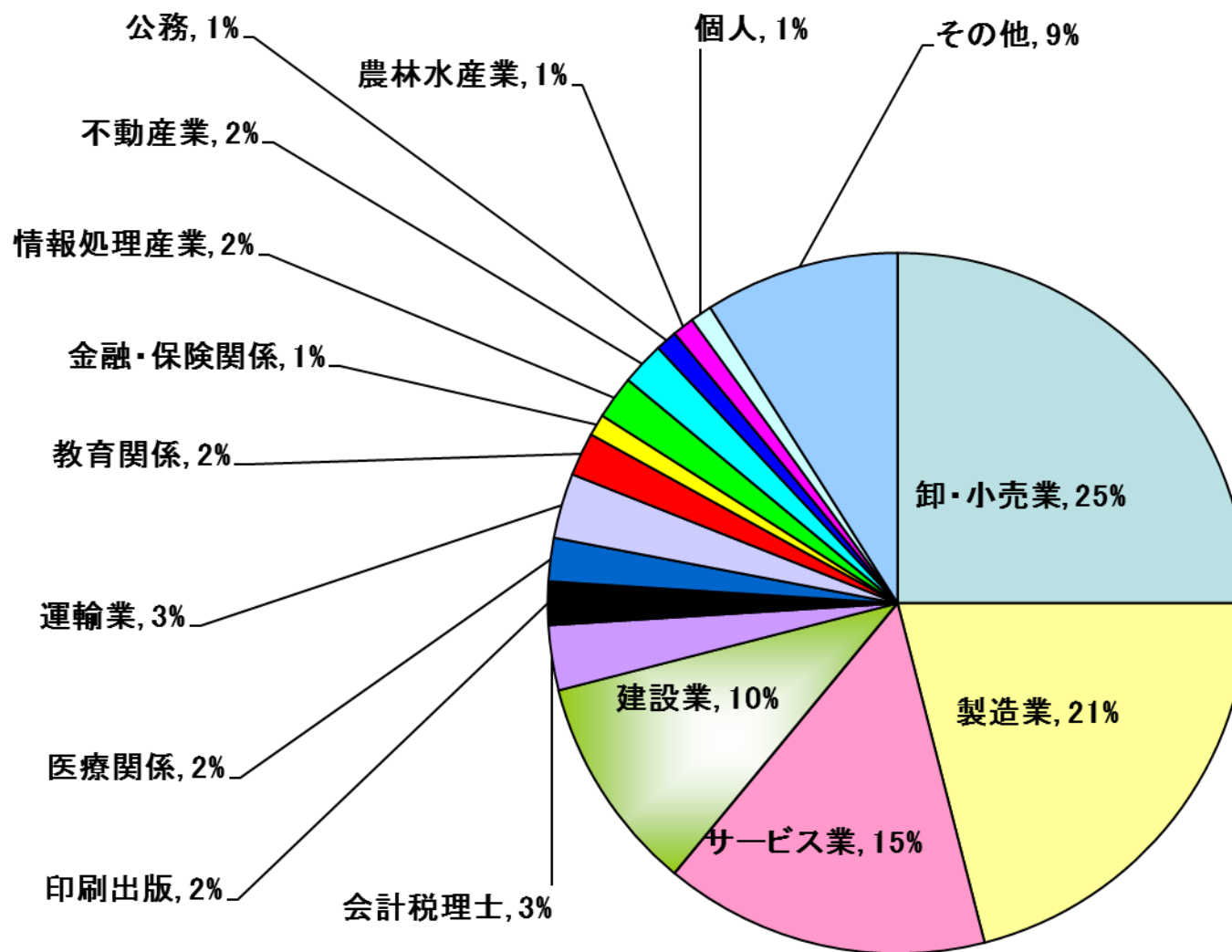
- ・サプライ品(専門帳票類)
- ・奉行連動ソリューション(他社製品)
- ・都銀向けEBの受託開発

## プロダクト

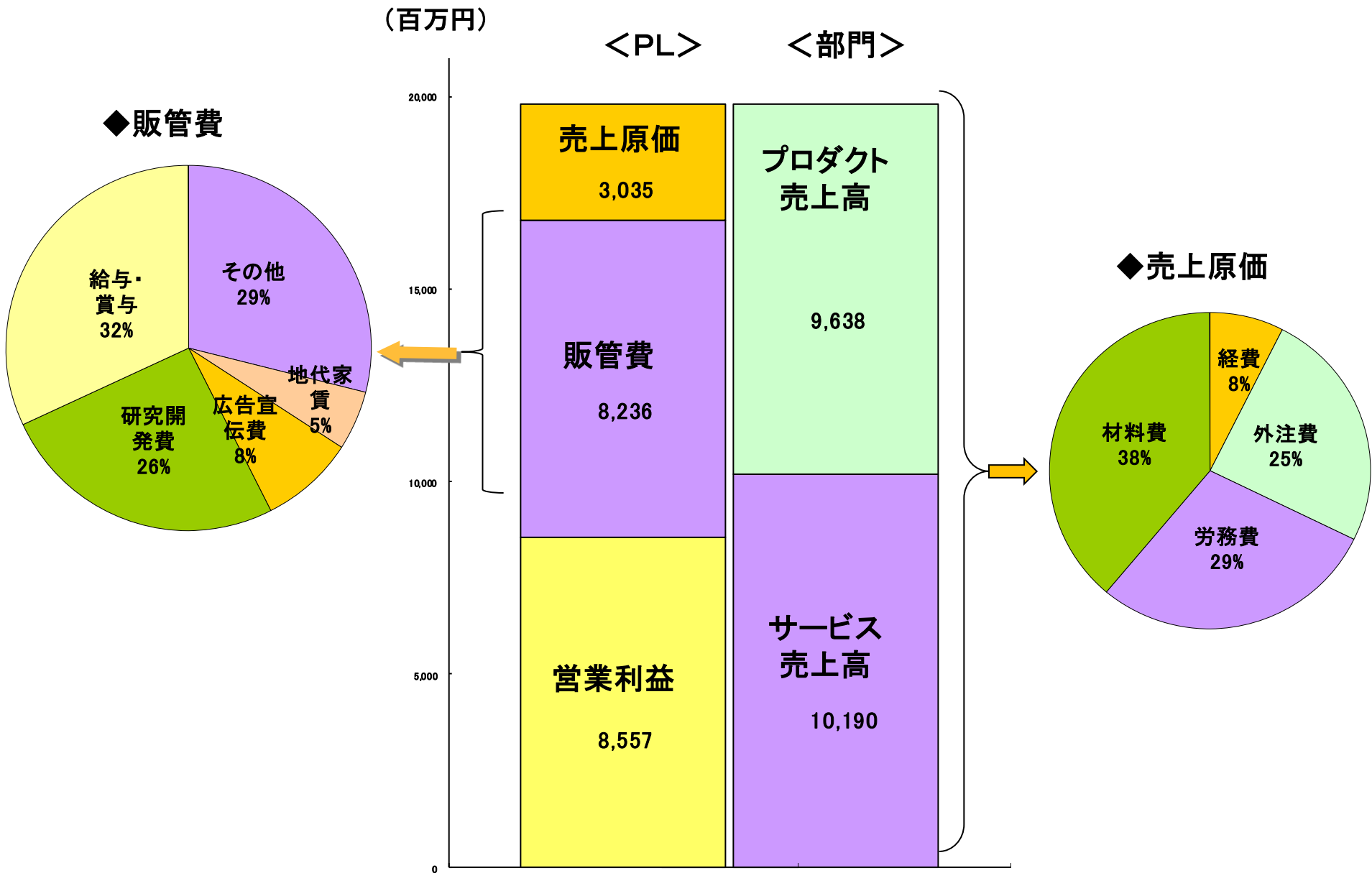
(ソリューション+関連製品)



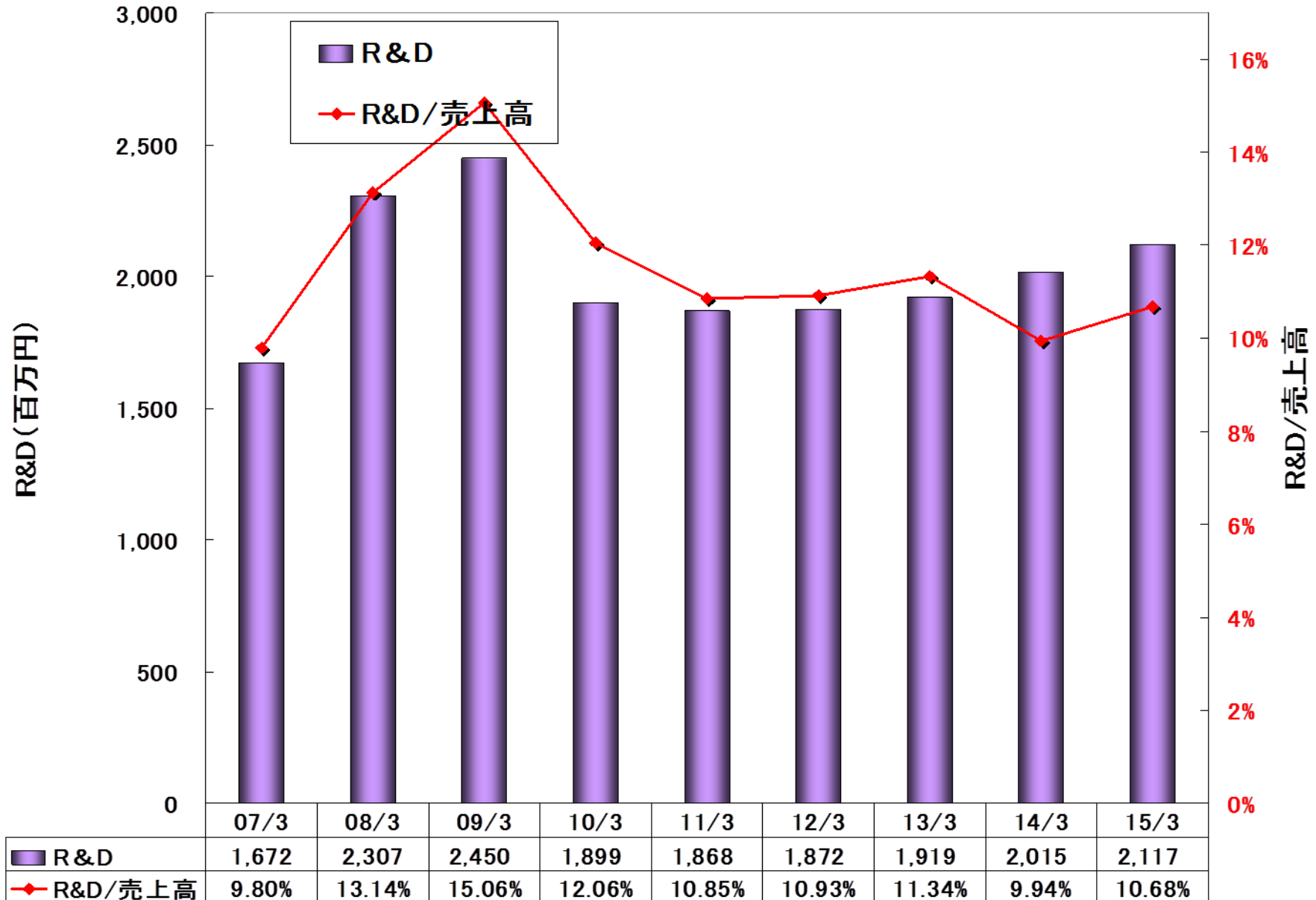
# ソリューションの業種別売上構成比



# 当社のPL構造(15年3月期)



# 研究開発に注力



# 当社の強み

勝ち組企業	当社の特徴
①特定分野にフォーカス	中堅・中小企業/業務/MSにフォーカス
②独自性がある	Windowsファンクション、新ERPほか
③価格競争に巻き込まれない	価格で“勝負”しない
④サービス・サポートも重視	メンテナンス契約、サポートセンター、ほか
⑤顧客主義	顧客満足度を常にチェック

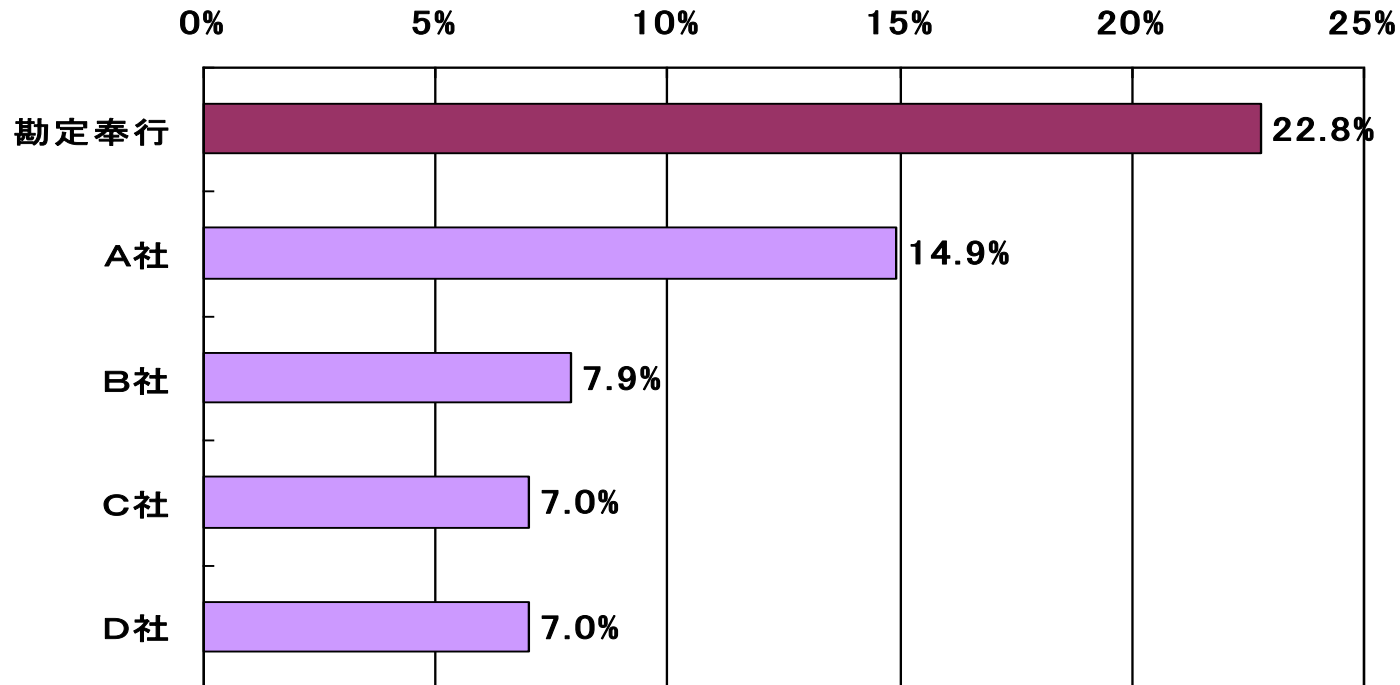
# 市場における地位①



## 財務会計システムの導入シェア(2015年)

- 調査実施時期:2015年7月
- 対象:年商10億円以上20億円未満の中堅・中小企業

### 【市場シェア】



ノーク・リサーチ 「2015年版中堅・中小企業のITアプリケーション利用実態と評価レポート」より

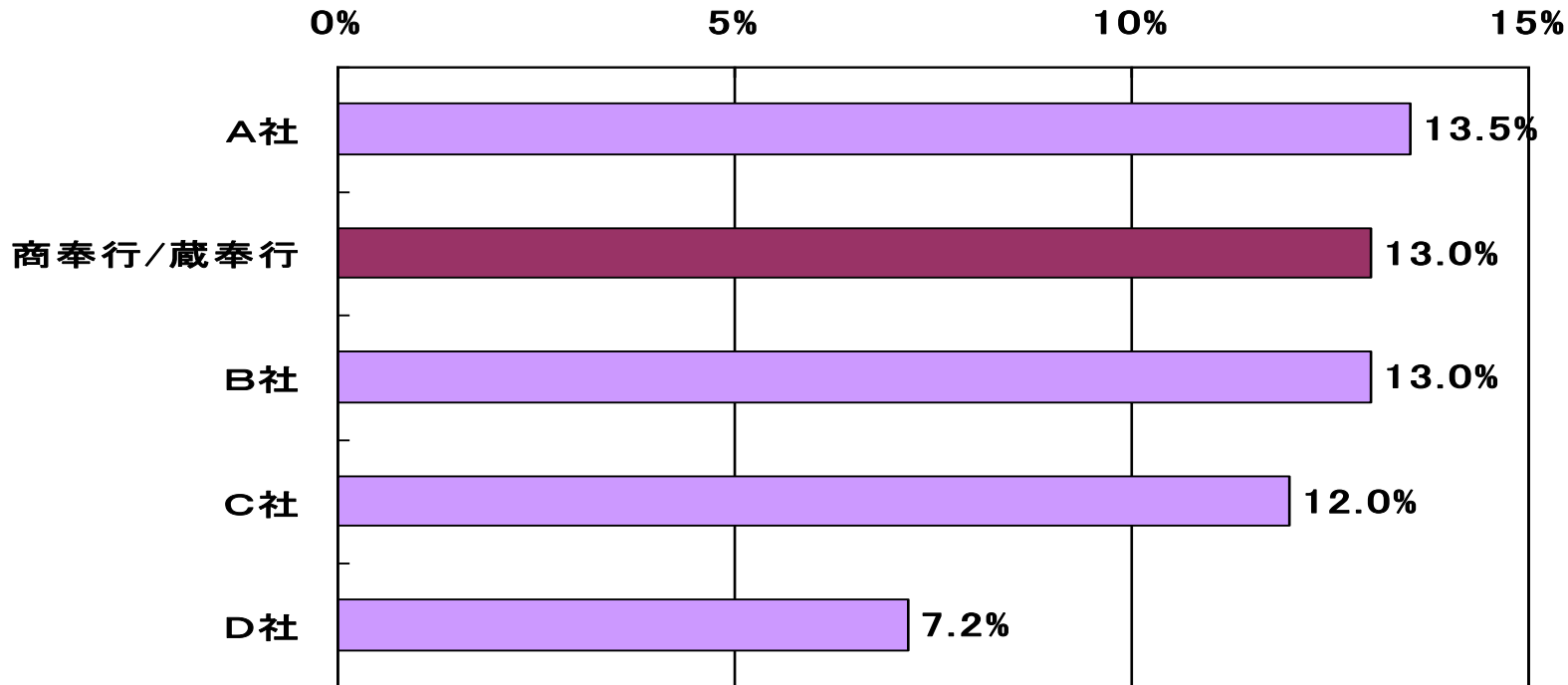
# 市場における地位②



## 販売・仕入管理システムの導入シェア(2015年)

- 調査実施時期:2015年7月
- 対象:年商500億円未満の中堅・中小企業

### 【市場シェア】



ノーク・リサーチ 「2015年版中堅・中小企業のITアプリケーション利用実態と評価レポート」より

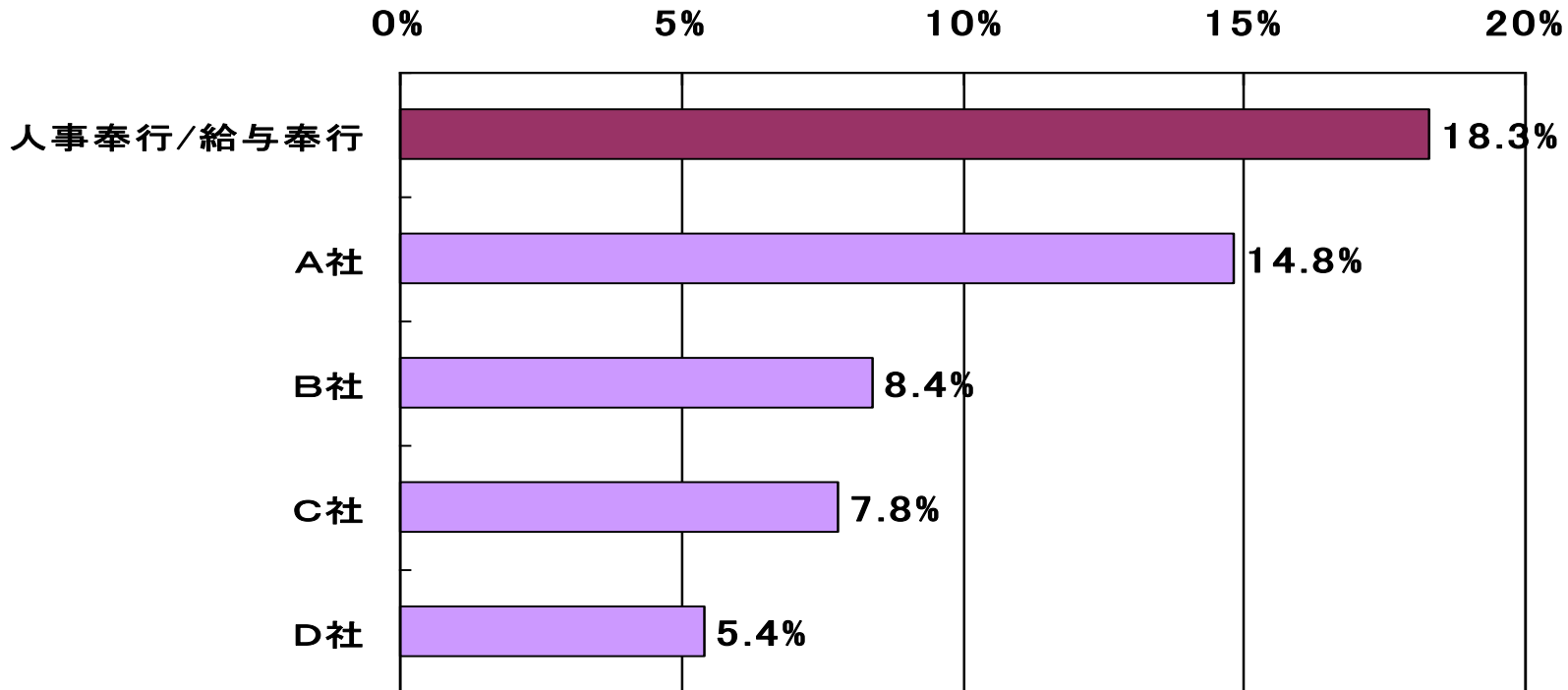
# 市場における地位③



## 人事・給与システムの導入シェア(2015年)

- 調査実施時期:2015年7月
- 対象:年商500億円未満の中堅・中小企業

### 【市場シェア】



ノーク・リサーチ 「2015年版中堅・中小企業のITアプリケーション利用実態と評価レポート」より

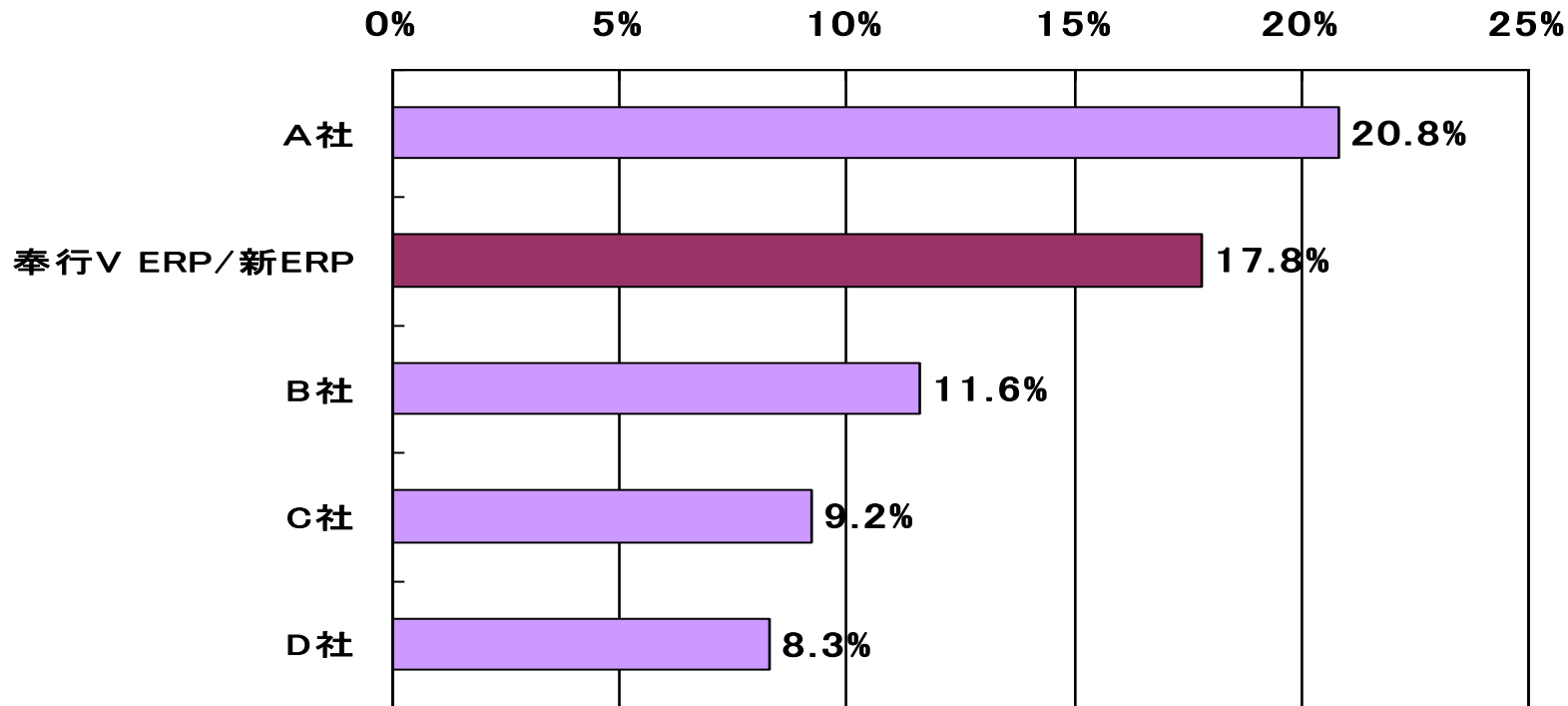
# 市場における地位④



## ERPパッケージの導入シェア(2015年)

- 調査実施時期:2015年7月
- 対象:年商500億円未満の中堅・中小企業

### 【市場シェア】



ノーク・リサーチ 「2015年版中堅・中小企業のITアプリケーション利用実態と評価レポート」より





[www.obc.co.jp](http://www.obc.co.jp)

～ IR活動における個人情報取り扱い側窓口 ～

株式会社オービックビジネスコンサルタント 管理本部 高橋 電話 03-3342-1881

皆さまからお預かりする個人情報は、当社のIR活動の向上を目的として収集しています。従って、この目的以外にご記入いただいた内容や皆さまに関する情報を第三者に開示することはありません。

説明会の出欠管理に関しては野村IRに委託しており、委託にあたっては同社の個人情報保護方針について確認しております。